

日本貝類学会平成 23 年度大会開催のお知らせとプログラム

東北関東大震災により未曾有の被害にあわれた皆様には心よりのお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈りいたします。

大地震、津波の被害、ならびに原子力発電所よりの放射能漏れの不安もありますが、大会が会員各位の研究成果の発表と相互の情報交換の場として大きな役割を果たしていることから、平成 23 年度大会は当初の予定通り 4 月 16、17 日に九州大学箱崎キャンパス（福岡市東区箱崎 6-10-1）において開催致します。皆様のご参加をお願い申し上げます。

約 70 名の方から申し込みをいただいています懇親会については、情報交換と遠方の知人と旧交を温める場として楽しみにされている方が多いことから実施いたしますが、できるだけ経費を削減して、懇親会参加費の一部ならびに大会期間中に集めます寄付金を震災に会われた方々への貝類学会からの義捐金とさせていただきたいと思っております。皆様のご協力をお願いいたします。（大会実行委員会）

プログラム

口頭発表	1 鈴	13 分	発表終了 2 分前予告
	2 鈴	15 分	発表終了
	3 鈴	20 分	質疑応答終了

*1 人の持ち時間が質疑応答を入れて 20 分と長くなっていますのでご注意ください。

*会場が 2 ヶ所あります。

第 I 会場（第 1 会議室）、第 II 会場（10 番講義室）

*東北関東大震災のため中止：16(I)-04, 17(II)-02, 17(II)-03

4 月 16 日（土）

9:00～
受付開始
口頭発表

第 I 会場（第 1 会議室）

<座長：氏野 優>

16(I)-01 10:00～10:20 南部靖幸[○]・松隈明彦：

古第三系芦屋層群から産出した貝類化石に固着するフジツボ化石

16(I)-02 10:20～10:40 天野和孝[○]・安藤寿男：

巨大なスエヒロキヌタレガイ属化石の産出層準

16(I)-03 10:40～11:00 芳賀拓真[○]・加瀬友喜：

木材食性はいつ獲得されたか - ニオガイ上科二枚貝類の適応放散史

<座長：天野和孝>

16(I)-04 11:00～11:20 亀田勇一[○]・加藤 真：
日本産地下水棲腹足類の多様化と地下水環境への進出

16(I)-05 11:20～11:40 長谷川和範[○]・奥谷喬司：
相模湾の漸深海帯産有殻腹足類相の再検討

16(I)-06 11:40～12:00 佐々木猛智[○]・渡部裕美・小島茂明：
マリアナ諸島沖の化学合成生物群集に生息する貝類：多様性と生物地理
12:00～13:00 昼 休 み

<座長：大越健嗣>

16(I)-07 13:00～13:20 町井 昭：
真珠形成の初期を培養下で再現

16(I)-08 13:20～13:40 南さくら・小宮陽介・宮崎乃理子・出来 碧・中井咲織[○]：
岡山県真鍋島産イガイから発見された真珠の特徴とその形成要因

16(I)-09 13:40～14:00 西田 梢[○]・佐々木猛智・石村豊穂：
アカガイの貝殻微細構造の成長段階による変化

14:20～15:00 ポスター発表 (奇数・偶数同時に行います)

<座長：桑原康裕>

16(I)-11 15:00～15:20 橋本 惇[○]・久原瞳子・狩野泰則：
奄美大島西方陸棚斜面域で採集されたツキガイ科二枚貝類

16(I)-12 15:20～15:40 久保弘文[○]・成瀬 貫・上野大輔：
久米島海洋生物合同調査で見いだされた興味深い貝類

16(I)-13 15:40～16:00 田村一利：
厚岸湾（北海道）とその周辺の浅海性貝類

<座長：岩崎敬二>

16(I)-14 16:00～16:20 木村昭一[○]・佐藤達也：
豊かな内湾の貝類相 6 —三重県鳥羽市南部入江—

16(I)-15 16:20～16:40 山下博由[○]・佐藤慎一・桑原康裕・池口明子：
日本・朝鮮半島の干潟貝類相の生物地理学的再検討

16(I)-16 16:40～17:00 Timea P. Neusser・福田 宏[○]・Katharina M. Jörger・
狩野泰則・Michael Schrödl：ヒミツナメクジは囊舌類かスナウミウシ類か
— その形態の3次元再構築・分子系統ならびに進化

17:30～19:30 懇親会 (工学部食堂)

第II会場 (10番講義室)

<座長：木村昭一>

16(II)-01 10:00～10:20 岩崎敬二：
日本海沿岸における外来二枚貝コウロエンカワヒバリガイの分布について

16(II)-02 10:20～10:40 木村妙子[○]・谷口千恵・木村昭一・五箇公一：
琵琶湖における外来二枚貝タイワンシジミの現状

- 16(II)-03 10:40~11:00 栗原康裕：
北海道東部におけるドブシジミ科貝類相
<座長：木村妙子>
- 16(II)-04 11:00~11:20 碓氷裕史[○]・景山良祐・早瀬善正・木村賢史・西村修：
(中止) 東京湾の人工干潟で確認されたガタヅキ *Arthritica* sp.
(Galeommatoidea:Leptonidae)
- 16(II)-05 11:20~11:40 大越健嗣[○]・長谷川 優・鈴木聖宏・山口竜平：
サキグロタマツメタの捕食・被食関係—干潟の生物多様性への影響
- 16(II)-06 11:30~12:00 福森啓晶・狩野泰則[○]：
フタでも分かる巻貝幼生の変態サイズ：両側回遊と化石研究における意義
- 12:00~13:00 昼 休 み
<座長：佐々木猛智>
- 16(II)-07 13:00~13:20 平野弥生[○]・Cynthia D. Trowbridge・西田和記・須藤耕佑・平野
義明：オオアリモウミウシ属(腹足綱・囊舌目)の多様性
- 16(II)-08 13:20~13:40 Cynthia D. Trowbridge[○], Yayoi M. Hirano, Pat Krug, A. Adachi &
Yoshiaki J. Hirano：
***Plakobranthus ocellatus* (Sacoglossa) in Okinawa: A complex of cryptic
species.**
- 16(II)-09 13:40~14:00 高野剛史[○]・綿野泰行・平野弥生・平野義明・Cynthia D.
Trowbridge：ゴクラクミドリガイ属(腹足綱・囊舌目)における分類学的混
乱：クロミドリガイとセトミドリガイ
- 16(II)-10 14:00~14:20 山本晶子・平野弥生・平野義明・Cynthia D.
Trowbridge・酒井敦・遊佐陽一[○]：
盗葉緑体による光合成が囊舌類2種の生存および成長に果たす役割
- 14:20~15:00 ポスター発表 (奇数・偶数同時に行います)
<座長：大原健司>
- 16(II)-11 15:00~15:20 入村信博[○]・浅見崇比呂：
房総半島におけるコハクオナジマイマイの生活史と分布の拡大
- 16(II)-12 15:20~15:40 矢野重文[○]・大原健司：
中国・四国地方に分布するムシオイガイ科5種の形態と分布
- 16(II)-13 15:40~16:00 植月茉莉亜[○]・矢野重文・松田春菜・山城考・山城明
日香・浜野龍夫：中国・四国地方に分布するムシオイガイ科の系統分類学
的研究
<座長：浅見崇比呂>
- 16(II)-14 16:00~16:20 内田里那[○]・富山清升：
マレーシア・ボルネオ島サバ州の陸産貝類
- 16(II)-15 16:20~16:40 Barna Páll-Gergely：
The genus *Plectopylis* in China and Vietnam.
- 16(II)-16 16:40~17:00 中井克樹：
陸産貝類の保全移殖は可能か？ 開発の代償措置と生物多様性再生の支
援
- 17:30~19:30 懇 親 会 (工学部食堂)

4月17日(日)

8:30~

受付開始

口頭発表

第I会場(第1会議室)

<座長:上島 励>

17(I)-01 9:00~9:20 濱田佳奈・浦部美佐子[○]・多々良有紀・向上高等学校生物部:
日本に侵入した外来種コモチカワツボの mtDNA 多型

17(I)-02 9:20~9:40 Lingfeng KONG[○], Jun LIU, Qi LI & Akihiko MATSUKUMA
(中止) **Highly divergent mitochondrial and nuclear lineages reveal cryptic species:
phylogeography of the pen shell *Atrina pectinata* (Bivalvia: Pinnidae).**

17(I)-03 9:40~10:00 Xiaodong ZHENG[○], Xiangzhi LIN, Qi LI & Akihiko
(中止) MATSUKUMA :
**A new species of *Cistopus* (Cephalopoda: Octopodidae) in the southeast
waters of China and population genetic analysis based on partial
mitochondrial DNA sequences.**

<座長:福田 宏>

17(I)-04 10:00~10:20 上島 励[○]・小沢英之:
沖縄本島産ヤマタニシ類の隠蔽種における遺伝的分化と生殖的隔離

17(I)-05 10:20~10:40 上島 励[○]・山崎一憲・山崎 碧:
パラオ諸島の陸貝相-その多様性、進化、保全-

17(I)-06 10:40~11:00 山崎 碧[○]・山崎一憲・上島 励:ゴマガイ科で発見
された貝殻内壁の microarmature -その構造、機能と分類学的意義-

11:00~12:00 平成23年度日本貝類学会総会(第II会場:10番講義室)

12:00~13:00 昼 休 み

13:00~14:00 公開講演(中止)

博物館第バックヤードツアー(鉱物・骨格標本室)を行います!
希望者は受付前にお集まりください。

<座長:堀 成夫>

17(I)-07 14:00~14:20 尾城 隆[○]・木谷洋一郎・長島裕二・杉谷那津子・幸塚久典・
関藤 守:潮間帯の腹足類中腸腺におけるホスホグルコムターゼ (PGM)
の重合・解離性に関する分子進化学的研究 -ネオ中立説を巡って

17(I)-08 14:20~14:40 佐々木猛智[○]・松尾侑磨・西田 梢・中野智之:
アツカサガイ科の再評価:解剖、貝殻微細構造、および分子系統

17(I)-09 14:40~15:00 中野智之[○]・佐々木猛智・加瀬友喜:
ベッコウガサの分類学的再検討と生物地理

<座長:山下博由>

17(I)-10 15:00~15:20 堀 成夫:
ウツブシシタダミとギボシノツブはトウガタガイ科?

17(I)-11 15:20~15:40 佐藤慎一[○]・洪 在上・関野正志:

韓国南海岸（順天湾）における貝類相の特徴と，黄海・日本周辺海域との比較

- 17(I)-12 15:40～16:00 千葉友樹[○]・佐藤慎一・長谷川裕美：
宮城県東名海岸におけるサキグロタマツメタの侵入と二枚貝類との捕食—被食関係
- 17(I)-13 16:00～16:20 福田 宏[○]・芳賀拓真・柴田健介・北山圭佑：
甦る畠田和一 — そのコレクションの再発見と意義

第II会場（10番講義室）

<座長：狩野泰則>

- 17(II)-01 9:00～9:20 アンポン ウィウエグウェウ・浅見崇比呂[○]：
種間非対称な雑種形成に反する遺伝浸透がなぜ頻繁に見つかるのか
- 17(II)-02 9:20～9:40 バルンパ ドウラヤヌラク・アンポン ウィウエグウェウ・浅見崇比呂[○]：近年分布を広げたはずの日本固有種と外来種とされるカタツムリの分子系統地理
- 17(II)-03 9:40～10:00 福森啓晶[○]・狩野泰則：
アマオブネ科腹足類の分子系統解析：河川への多数回進出と適応進化
- <座長：長谷川和範>
- 17(II)-04 10:00～10:20 濱口寿夫：
沖縄島におけるコウダカカラマツガイの産卵周期
- 17(II)-05 10:20～10:40 高橋幸愛[○]・渡部 裕美・瀬尾 絵理子・丸山 正・藤倉 克則：
ヘイトウシンカイヒバリガイは性転換する
- 17(II)-06 10:40～11:00 沼波秀樹[○]・中村アツコ：
外套膜から酸を分泌するハナズトガイ科とタカラガイ科貝類

11:00～12:00 平成23年度日本貝類学会総会（第II会場：10番講義室）

12:00～13:00 昼 休 み

13:00～14:00 公開講演（中止）

博物館第バックヤードツアー（鉱物・骨格標本室）を行います！
希望者は受付前にお集まりください。

ポスター発表

- P1 椿 玲未[○]・加藤 真：ホウオウガイ個体群構成の季節的変動
- P2 氏野 優[○]・松隈明彦：ニッコウガイ科 *Serratina* 属 3 種の分子解析に基づく分類再検討
- P3 多々良有紀[○]・福田 宏 (岡山大・農)・洪 在上：韓国スンチョン湾のカワザンショウ科 (新生腹足上目：リソツボ上科)
- P4 多々良有紀[○]・福田 宏：オオクリイロカワザンショウ (新生腹足上目：カワザンショウ科) の類縁関係
- P5 佐伯愛実[○]・松隈明彦：福岡県糸島市志摩・幣の浜におけるヤマボタルガイの分布
- P6 田村一利：ハチジョウチチカケガイ (*Titiscania shinkishihatai*) とツメナリミヤコドリガイ (*Phenacolepas unguiformis*) の生殖器官の形態比較
- P7 Shiela VILLAMOR[○] & Tomoko YAMAMOTO：Spatial and Seasonal distribution of *Cypraea annulus* and *C. erronea* (Mollusca: Gastropoda) in Hanasezaki, Ibusuki, Kyushu, Japan
- P8 近藤美麻[○]・伊藤健吾・千家正照：イシガイ科二枚貝の保全地としてのビオトープ池
- P9 宮本裕史：SPARC はアコヤガイとクロアワビの外套膜で共通して発現する石灰化関連因子である
- P10 高田宜武[○]・林育夫：新潟沿岸の浅海砂泥域におけるバカガイの深度分布
- P11 園原哲司[○]・緒方大地・香川 理・多々良有紀・芳賀拓真：外来水棲腹足類コモチカワツボ (新生腹足類：リソツボ上科) における日本初の雄性個体の発見ならびに新産地
- P12 齋藤寛：伊豆諸島沖および房総半島沖の礁上から採集された多板類
- P13 香取祥人[○]・坂田健・林誠司・久保弘文：アラムシロ *Nassarius festivus* の分子系統地理学的研究
- P14 松田春菜[○]・浜野龍夫・長澤和也：トクナガヤドリニナの成長および繁殖様式
- P15 後藤龍太郎[○]・濱村陽一・加藤 真：ユムシ類の巣穴に共生するイソカゼガイ属二枚貝の生態と形態適応
- P16 吉野健児[○]・片野俊也・速水祐一・濱田孝治・小林元太：有明海湾奥部のサルボウ軟体部形態の変異と懸濁物環境
- P17 伊芸 元[○]・上原 剛：ハナゴウナ科 *Eulimidae* に属する貝類と沖縄産ナガウニ類の宿主選択関係について
- P18 白井亮久[○]・梶田 忠：日本産淡水生二枚貝 (イシガイ科) の分子系統学的研究
- P19 柴田健介[○]・福田 宏：コメツブガイ (腹足綱：頭楯類) の分類学的位置：科・属の所属と 2 種の混在
- P20 鈴木陽大[○]・大越和加・大越健嗣・佐々木 洋・秋葉文弘・平塚悠治・遠藤宜成：南極海インド洋区における有殻翼足類 *Limacina helicina antarctica* の貝殻成長について—速報